



龍ヶ峰城



主郭からは遠く日本海や霊峰白山を望める

所在地：石川県河北郡津幡町山森・原・上藤又

立 地：丘陵頂部、標高194m

城 主：村上右衛門、上杉謙信、佐々與左衛門（佐々成政家臣）、前田秀継・利英

時 期：戦国

見学時間（参考）：30分～1時間

通称城ヶ峰山頂に占地し、直下に北陸街道が通る交通の要衝である。今残る北陸街道は越中側から歩くと城域の東裾から南裾を通るが、元は北側の城内の道を通り越中坂集落に下る道との分岐で南に直角に折れて西裾を通っていて、軍事的に街道を変更している。



登城口（旧北陸街道）

故墟考では一向一揆に加担する土豪村上右衛門が城主となり、天正4年（1576）には上杉謙信が加賀一向一揆を攻めた時の本陣にしたと伝えている。その後、加賀・能登の領主前田利家と越中の領主佐々成政が対立し、加越国境が軍事的に緊迫した天正12年（1584）～13年に佐々方が本城を抑え、故墟考では成政の家臣佐々與左衛門が居城したと伝えている。

城内への入口は越中側から旧北陸街道を直進して二の郭に上る枡形虎口と、さらに直進して北西から二の郭に上る平虎口の2箇所、ともに越中の佐々方は容易に進入できる構造になっている。枡形虎口や尾根続きを遮断する堀切は良好な状態で残っているが、平虎口や二の郭から主郭への通路に交互に設けられた豎堀（喰違虎口）は公園化に伴う整備でやや不明瞭になっている。

城跡の南側には江戸時代、二戸の道番人に屋敷地が与えられ、北陸街道の掃き掃除、砂入れ、水落とし、雪割、並木の手入れなどをさせていた。



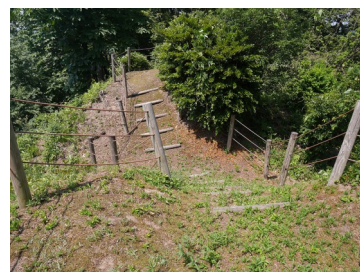
道番人屋敷跡に整備された
龍ヶ峰城跡公園駐車場



主郭から三の郭方面を望む



二の郭 枡形虎口



尾根続きを遮断する堀切

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>